

鳥羽商船高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	国語 2
科目基礎情報						
科目番号	12101		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	商船学科		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	常用漢字クリア、国語便覧、現代文学名作選					
担当教員	豊田 尚子					
到達目標						
1.国語常識として、基礎的な漢字の読み書きができ、語彙能力を高める。 2.近現代の文学作品の背景を知る。 3.古典の文学作品の背景を知る。						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1		国語常識として、基礎的な漢字の読み書きができ、語彙を運用できる。	基礎的な漢字の読み書きができ、語彙を身につける。	基礎的な漢字の読み書きができず、語彙能力もない。		
評価項目2		近現代の文学作品の背景を知り、説明できる。	近現代の文学作品の背景をとらえることができる。	近現代の文学作品の背景をとらえることができない。		
評価項目3		古典の文学作品の背景を知り、説明できる。	古典の文学作品の背景をとらえることができる。	古典の文学作品の背景をとらえることができない。		
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	国語総合1に引き続き、低学年では、漢字学習などの基礎学力の向上を重視する。文化的教養として、一般常識のレベルでの国語常識を蓄積する。また、文章の意図を理解し、的確に説明できる文章作成能力を高める。					
授業の進め方・方法	授業の前半は語彙力を高めるために、国語常識問題に取り組む。 授業の後半は板書を中心とした講義となる。授業で扱う資料も試験対象となる。					
注意点	1.漢字プリントは、目的と方法を意識して取り組むこと。まとめて提出をすることがあるので自分で管理すること。再発行はしない。一年次より、内容評価点が厳しくなる。 2.ノートを取るのは当然の行為であるため、ノート提出の加点はない。 3.試験後の課題は重要な提出物となる。授業内に完成させて提出する。 4.後期の評価割合は、試験60、ポートフォリオ40とする。試験は後期中間試験の素点、ポートフォリオは後期中間試験後に実施した課題(授業内で作成・提出したもの)による。					
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス	テキストの確認、漢字学習の進め方、課題の取り組み方を知る。		
		2週	国語辞典について	言葉の大切さ、説明力の大切さを知る。		
		3週	SPI例題	SPIの全容を知る。 実際に解いてみる		
		4週	SPI2例題 近現代文学史①	SPI2を学習する。 文学史の時代区分を知る。		
		5週	SPI1・2 近現代文学史②	SPIを学習する。 近現代文学史の基本用語を学ぶ。		
		6週	SPI3・4 近現代文学史③	SPIを学習する。 近現代文学史の基本用語を学ぶ。		
		7週	SPI5・6 近現代文学史③	SPIを学習する。 近現代文学史の基本用語・人名を学ぶ。		
		8週	SPI7・8 近現代文学史④	SPIを学習する。 近現代文学史の基本用語・人名を学ぶ。		
	2ndQ	9週	SPI9・10	SPIを学習する。		
		10週	SPI11・12 近現代文学史⑤	SPIを学習する。 近現代文学史の基本用語・人名を学ぶ。		
		11週	近現代文学史⑥ 追加課題の予告	近現代文学史の基本用語・人名を学ぶ。 追加課題の説明を受ける。		
		12週	追加課題の説明 テストに関する連絡	追加課題の説明を受ける。 テストに関する連絡を聞く。		
		13週	追加課題①	追加課題に取り組む。		
		14週	追加課題②	追加課題に取り組む。		
		15週	追加課題③	追加課題に取り組む。		
		16週	前期期末試験	設問に正しく解答する。		
後期	3rdQ	1週	試験の解答と解説	後期の授業の進め方を確認する。		
		2週	SPI性格適性検査	国語常識を学習する。		
		3週	SPI・原材料 近現代文学史①	国語常識を学習する。 写実主義の作家と作品を学ぶ。		
		4週	SPI・包含 近現代文学史	国語常識を学習する。 浪漫主義の作家と作品を学ぶ。		
		5週	SPI・行為用途 近現代文学史③	国語常識を学習する。 浪漫主義の作家と作品を学ぶ。		
		6週	SPI・ことわざ	国語常識を学習する。 自然主義の作家と作品を学ぶ。		
		7週	後期中間試験	設問に正しく解答する。		

	4thQ	8週	試験の解答と解説1	試験問題を見直し、正しい答えの導き方を確認する。
		9週	試験の解答と解説2	試験問題を見直し、正しい答えの導き方を確認する。
		10週	SPI 近現代文学史	国語常識を学習する。 文学史を学ぶ(樋口一葉の作品)。
		11週	SPI 近現代文学史	国語常識を学習する。 文学史を学ぶ(島崎藤村の作品)。
		12週	SPI 近現代文学史	国語常識を学習する。 文学史を学ぶ(島崎藤村の作品)。
		13週	SPI 近現代文学史	国語常識を学習する。 文学史を学ぶ(森鷗外の作品)。
		14週	SPI 近現代文学史	国語常識を学習する。 文学史を学ぶ(森鷗外の作品)。
		15週	近現代文学史	文学史を学ぶ(夏目漱石)。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	2	
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	2	
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	2	
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	2	
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	2	
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	2	
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	2	
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	2	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	複数の情報を整理・構造化できる。	2	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	0	40	0	100
基礎的能力	60	0	0	0	40	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0